

柳井誠市議「生活保護利用者の健康対策」を求める

生活保護利用者の「検診」受診率は、 国保利用者のわずか 100 分の 1

9月議会本会議で、日本共産党の柳井誠市議が生活保護利用者の健康対策を求めました。

質問で柳井市議は「国保加入者の『特定健診』は受診率が35.8%なのに、生活保護利用者の国保特定健診に相当する『基本検診』の受診率は0.34%しかなく、国保利用者の100分の1である。その理由は、生活保護利用者に対しては健診の種類と説明が省略されており、説明が不十分である」と改善を求めました。

さらに、「国保の検診案内はチラシで『早

期受診、早期発見、早期治療により治癒率は高くなります、あなたの笑顔を見ていたいから、定期的ながん検診を受けましょう』と文書で案内されています。一方、『基本健診』の生活保護利用者には口頭説明だけです(実際にはほとんど行われていません=小倉生健会の見解)。生活保護利用者にも同じようなチラシを配り『しおり』も改善すべきだ」と求めました。

保健福祉局長は「『しおり』の内容の見直しを含め、周知方法を検討し、検診率の向上に努めてまいります」と答えました。

生活保護費引き下げ、年間、一世帯9万円にも

●生活保護費引き下げ金額(予算)

単位:億円

2013年		2015年		2018年
生活扶助費	期末一時扶助費	住宅扶助基準	冬期加算	生活扶助費
890	90	250	40	210
980		290		210
1480				

※2013年から1480億円の生活保護費が削減された。

※生活保護世帯は164万世帯なので、1世帯当たり9万円/年間が削減された。

左の表は、安倍内閣が2013年からすすめている生活保護費引き下げの金額を示したものです。年間1世帯当たり9万円も引き下げられました。

9月市議会に「陳情」を提出しました (生健会 北九州ブロック協議会)

北九州市では、借家の多くで3000~5000円前後の共益費や管理費を支払わなければなりません。保護費にはこの費用は含まれていないため、食費などを削って負担するしかありません。

生健会北九州市ブロック協議会は9月25日、市議会に対して「共益費や管理費を住宅扶助として支給すること」を求める陳情書を提出しました。



市議会に陳情する、左から二人目から右へ、波田千賀子門司生健会会長、福田敏幸小倉生健会理事、藤元共勝八幡生健会事務局長。

●2018年10月からの生活扶助費(北九州市)

年齢	0~2	3~5	6~11	12~17	18~19	20~40	41~59	60~64	65~69	70~74	75~	年齢構成(才)	生活扶助費 2018年10月~
	单身						○	○	○	○	○		○
												41~59	75,450
								○				60~64	75,150
									○			65~69	75,100
										○		70~74	71,190
											○	75~	70,240
夫婦等						○○	○○	○○	○○	○○	○○	20~40夫婦等	115,070
							○○					41~59夫婦等	115,700
								○○				60~64夫婦等	115,290
									○○			65~69夫婦等	114,150
										○○		70~74夫婦等	108,320
											○○	75~ 夫婦等	105,920
夫婦 + 子 など	○					○○						20~40夫婦等、0~2才	139,570
		○				○○						20~40夫婦等、3~5才	141,340
			○			○○						20~40夫婦等、6~11才	146,040
			○○			○○						20~40夫婦等、6~11才×2	170,830
				○		○○						20~40夫婦等、12~17才	153,010
				○○		○○						20~40夫婦等、12~17才×2	184,080
					○	○○						20~40夫婦等、18~19才	153,010
				○	○	○○						20~40夫婦等、12~17、18~19才	184,080
				○			○○					41~59夫婦等、12~17才	149,720
					○		○○					41~59夫婦等、18~19才	149,720
						○		○○				60~64夫婦等、20~40才	147,370
						○			○○			65~69夫婦等、20~40才	147,340
							○			○○		70~74夫婦等、41~59才	141,280
											○○	75~ 夫婦等、41~59才	139,800
年齢	0~2	3~5	6~11	12~17	18~19	20~40	41~59	60~64	65~69	70~74	75~	年齢構成(才)	生活扶助費 2018年10月~
母子等	○					○						20~40、0~2才	107,260
	○	○				○						20~40、0~2才、3~5才	134,430
		○				○						20~40、3~5才	109,130
		○	○			○						20~40、3~5才、6~11才	138,780
			○			○						20~40、6~11才	111,900
			○○			○						20~40、6~11才×2	141,830
				○		○						20~40、12~17才	116,230
				○○		○						20~40、12~17才×2	154,590
					○	○						20~40、18~19才	116,140
					○	○						20~40、12~17、18~19才	154,590
					○		○					41~59、12~17才	115,700
					○	○						41~59、12~17才、18~19才	152,940
						○		○				60~64、20~40才	114,980
						○			○			65~69、20~40才	114,410
							○			○		70~74、41~59才	112,010
							○				○	75~、41~59才	110,810

※上記表は生活扶助費です。各世帯により、住宅扶助費や加算が付く場合があります。
※ここで言う夫婦等とは、二人で生活していることをいう。
※切り上げのため、10円単位で異なる場合があります。